

全業種総合

回答企業数290企業（回答率100.00%）

概況

～総合的業況判断DI値 やや改善で推移～

総合的業況判断DI値は、前期比3.8ポイント上昇の▲2.4とやや改善となった。

業種別での業況判断DI値は、運輸業が60.0ポイント上昇の20.0、卸売業も41.3ポイント上昇の24.1、不動産業も11.1ポイント上昇の▲22.2、製造業も6.2ポイント上昇の▲21.9、サービス業も4.7ポイント上昇の▲2.4、小売業は横這いの▲2.2、建設業では3.4ポイント低下の▲8.6、飲食業でも52.6ポイント低下の5.3となった。5業種が改善し、3業種は横ばいや悪化となり飲食業が大幅悪化となった。

～経営上の問題点～

業種全体で「材料仕入価格の上昇」154先、「人員の不足」91先、「売上の低迷・減少」87先、「経費の増加」75先、「利幅の縮小」63先と上位を占めた。

前回調査比、「材料仕入価格の上昇」は3先増加、「人員不足」は4先増加、「売上の低迷・減少」は1先減少、「経費の増加」は9先増加、「利幅の縮小」は6先増加となった。

設備投資計画では、「予定あり」とした企業が31先で前期比0.0、設備投資実施予定割合は10.7%で前期比0.0となった。業種別では、製造業（土地・機械）18.8%、飲食業（建物・機械）15.8%、サービス業（建物・機械）14.3%、卸売業（建物・機械）10.3%、運輸業（建物）10.0%、建設業（土地・機械等）8.6%、小売業（土地・機械等）7.7%、不動産業は予定なしの結果であった。

資金繰りDI値は、前回調査比4.8ポイント上昇の▲6.9とやや改善、今期借入した企業は19.3%と前回調査時（21.7%）より2.4%減少となった。

来期の見通し

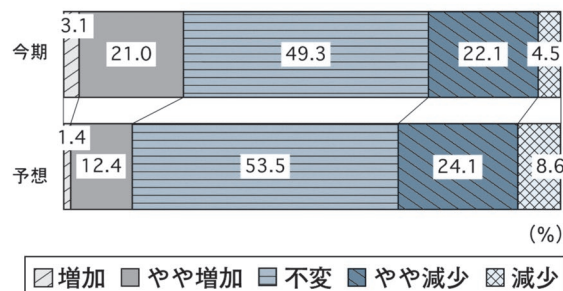
～総合的業況判断DI値 悪化の見通し～

各業種の見通し業況判断DI値は、今回調査比16.6ポイント低下の▲19.0と悪化の予想となった。

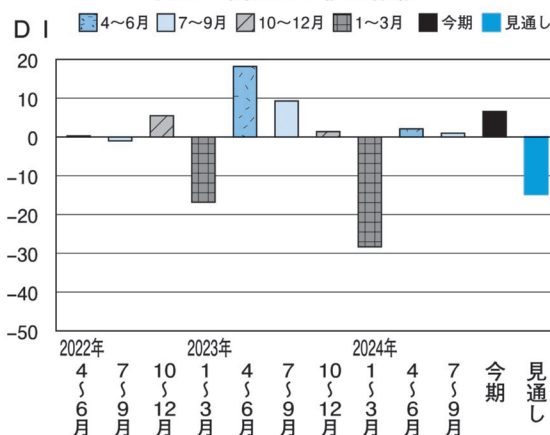
業種別では、飲食業が21.0ポイント上昇の26.3、不動産業は横ばいの▲22.2、小売業は8.8ポイント低下の▲11.0、サービス業も16.7ポイント低下の▲19.1、建設業も19.0ポイント低下の▲27.6、製造業も21.8ポイント低下の▲43.7、運輸業も30.0ポイント低下の▲10.0、卸売業でも55.1ポイント低下の▲31.0となり来期の見通しは、飲食業が改善し、横ばいが1業種その他業種は悪化となった。

今期資金手当てした先が19.3%、今後資金手当て等借入を予定している先は14.8%となっている。

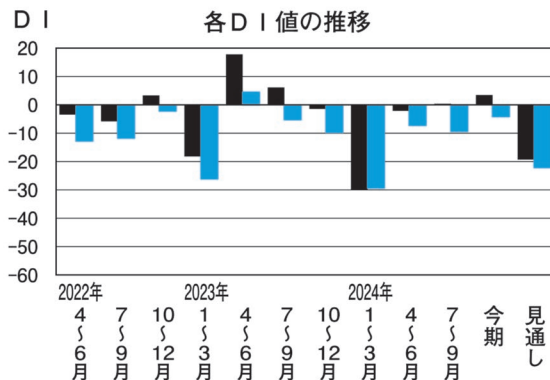
業況判断（全業種）



売上・受注DI値の推移



各DI値の推移



■ 売上数量DI値の推移 ■ 利益DI値の推移

設備投資計画の有無

